

5/1（金）「進路研修」～ライン工房施設長 谷口様のお話～

今回は、令和7年10月から始まった「就労選択支援」について、これまでの「就労アセスメント」との違いや「就労選択支援」の活用方法等について、ライン工房施設長の谷口様から御講話いただきました。講話の中では、就労選択支援のねらいや必要性等、子どもたちの適性を踏まえた上での進路決定を行うことで、子どもたちが新しい環境でも、輝きながら「はたらく」ことができるという話をいただきました。また、就労継続支援A型、B型、就労移行支援、生活介護等、子どもたちが高等部卒業後の進路について、詳しく分かりやすく説明していただきました。

今回の進路研修の動画を、オンデマンドで後日配信する予定です。

●参加された方からの御意見・御感想● 一部を紹介します

○とても分かりやすい資料とお話ありがとうございました。就労選択支援について、ようやく少し理解ができました。支援学校高等部に入り、進路を考えたり実際に実習をしたり本人の負担も増え、不安に思うことも（本当に合った進路先が見つかるのか）多々ありますが、本人の幸せな将来の為にいろんな方の力を借りて決めていこうと感じました。制度が子どもたちの幸せにつながることを願っています。

○とても分かりやすいお話でした。正直何の制度が分かっていなかった所が多かったので、聞くことができて良かったです。子ども本人の将来の為に必要なものと改めて理解できたと感じました。

○まだ小学部で「先のことから」と今まで考えていたが、今回の講話を聞き、早くから計画して学校とも連携させてもらいながら本人のできることを探っていくことが重要であると思いました。「はたらく」「自立する」ことを少しでも理解してもらいうえでも、このような機会はありがたいと思いました。

○福祉に関する事は自分で調べたり尋ねたりする必要があるけれど、このような機会に学ぶことができ、とても貴重な話を聞いて大変勉強になりました。「はたらく」の意味を子どもと共有します。

御意見・御感想の中には、現場実習に加えて、就労選択支援を受けることが負担に感じると不安な気持ちを書いていた保護者もいらっしゃいました。始まったばかりの制度で心配や不安もあるかと思います。現場実習では、「農業」「製造業」「清掃業」等、各事業所が中心として行っている活動を体験します。しかし、就労選択支援では様々な活動や学校での様子等を通して、子どもたちの持っている力を見極めることになります。学校を卒業後、新しい環境で「はたらく」ということは、子どもたちにとって不安も大きいと思います。しかし、仕事の内容が本人の得意なことであれば「環境に慣れることに不安はあるけれど、仕事は楽しい！」と思えるのではないのでしょうか。子どもの将来のため保護者と情報共有を行っていきたいと思いますので、御理解と御協力をお願いします。

～お知らせ～ 同窓会「二十歳のつどい」



令和8年度の「二十歳のつどい」を行います。

日時：令和8年6月27日（土）10：00～

場所：本校小学部プレイルーム

毎年、6月に行われています。活動の様子は次号に載せたいと思います。

8月に延期になりました！

高等部の実習について

高等部の前期現場実習(2・3年生)・校内実習(1年生)が始まります。前期は、6月1日～12日の10日間で現場実習(実際の事業所等に出勤し事業所の一員として働く経験をする事。)に取り組みます。現場実習は、卒業後の働く生活(通勤、仕事内容、コミュニケーション、働くための体力)を体験し、その中で、自分が得意なことや苦手なことを見つけ、卒業までに自分に合った進路選択をするための大切な学習です。校内実習の活動場所は学校ですが、事業所から委託された作業を事業所と同じような場の設定を行い、現場実習に向けた練習を行います。この期間の学習内容は以下になっています。

校内実習、現場実習における目標

- ・社会経験を豊かにすると共に、卒業後の生活への準備(マナー、あいさつ、通勤など)をする。
- ・校外での働くことを通して、卒業後の生活において必要となる力(働くための体力やコミュニケーション力など)を知る。



事前学習

働く上で大切なことや電話のかけ方、日誌の書き方、実習へ向けた目標設定など、実習に参加するための気持ちをつくる学習をします。

実習壮行会

一人ひとりが実習先、活動内容、実習の目標などを発表します。壮行会の最後には、教頭先生からの激励の言葉や、「がんばるぞコール」を行い、実習への意欲を高めます。

実習

1年生	下巢畑農産様、古今堂様、オーデン様に資材の御協力をいただき、シール貼り、芋のつる切り、お菓子の箱折り、緩衝材、チラシ折りに取り組みます。
2・3年生	事業所や企業に行き、働く経験をします。働くうえで必要な力や職場の雰囲気、初めて一緒に活動する方とのコミュニケーションなどを体験し、学んでいきます。

事後学習

実習先へのお礼状を書いたり、実習日誌を振り返ったりしながら、実習のまとめを行います。

実習報告会

報告会では、実習先の情報や実習で取り組んだ活動、どんなことができ、どんなことが難しかったのかなどこれからの目標について発表します。

実習壮行会	5月29日(金)10時半開始(場所:本校体育館)
実習期間	6月1日(月)～6月12日(金)※平日のみ10日間
★実習報告会	6月19日(金)10時開始(場所:本校体育館)

★6月19日(金)の実習報告会は、高等部だけでなく、すべての学部の実習生の皆様に御参加いただけます。高等部の進路に関する取組や、卒業後の進路先にどんなところがあるかを知ることのできる機会となります。少しの時間でも構いませんので、時間に御都合がございましたらぜひ見に来ていただくと嬉しいです。お待ちしております！



アフターフォロー記 ～卒業生のその後～



4月の終わりに、昨年度卒業した A さんが働く職場を訪問させていただきました。A さんは大津町にある中九州クボタの農場に就労しています。訪問した日は、育てていた芋の苗を切り分ける作業に取り組んでおられました。

就業支援として昨年度進路研修にも来ていただいた「就業・生活支援センターがまだす」を利用しており、がまだすの担当の方と一緒に、本人、職場の担当の方と入社から1か月の振り返りを行うことができました。

勤務時間は9時から16時で、保護者送迎と公共交通機関、自転車を使って通勤しています。この1か月の仕事は、広大な畑へのマルチ張りが体力的にきつかったとのこと。体調不良などでの休みは1日もなかったようで、環境の変化に頑張っについていっていることを嬉しく思いました。

困っていることは?と尋ねると、「仕事中に無言なのがきつい」「トマトの仕事がしたいんですけど、トマトの方は人気なんで…」と教えてくれました。

自分に任された仕事に従事しながらも、「こうしたいです」という意向をきちんと相談することができているようでした。トマトの仕事、叶うといいですね。

職場の担当の方から話を伺うと、仕事は無理なく取り組むことができているとのこと。休憩をするためのプレハブの使い方に関して、ごみをそのままにしていることがあるので気をつけよう、と確認ができました。



話し合いを終えて帰る前に、A さん達がマルチを張った畑を紹介してもらいました。「こんな感じでしてたんですよ。」とデモンストレーションまでしてくれました。今後は、車の免許取得に向けて給料を貯めていく予定とのこと。社会自立に向けて、一歩ずつ前に進んでいる A さんを今後も応援しています。学校にも遊びに来て、元気な姿を後輩や先生達に見せてほしいです。